

第 23 回 JWRC 水道講座のご案内

1. 主催：公益財団法人 水道技術研究センター
2. 協力：Japan-YWP
<http://www.japan-ywp.site/index.html>
3. 日時：令和 7 年 9 月 17 日(水)14:00～16:00
4. 開催方法：Web 開催(Zoom アプリを利用)
5. プログラム(内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 13:30～		
主催者挨拶	(公財)水道技術研究センター	14:00～14:05
協力者挨拶	Japan-YWP	14:05～14:10
①「水道のエネルギー問題と分散型システムへの新たな提案」	(公財)水道技術研究センター 技術顧問 佐々木 隆	14:10～14:55 (発表 35 分,質疑 10 分)
(休憩)10 分		
②「神戸市水道局給水部門のDX」	神戸市水道局給水課 係長 谷口 英雄	15:05～15:50 (発表 35 分,質疑 10 分)
閉会	(公財)水道技術研究センター	16:00

6. 定員：200 名
7. 参加対象者：JWRC 会員、Japan-YWP 会員、水道事業者及び関連団体、学生
8. 参加費：無料
(※JWRC、Japan-YWP とともに非会員の企業様は、申し訳ございませんがご参加頂けません。)
9. 申込方法
下記リンク先よりお申し込みください。
https://form.jwrc-net.or.jp/form/form.php?form_id=kouza23
10. 申込期限：令和 7 年 9 月 5 日(金)
11. その他
 - ・ 昨年に引き続き、本講座を Web での開催といたします。
 - ・ 単独の団体・所属からの申込者多数となる場合は、参加者数の調整をお願いすることがございます。

【 申込問合せ先 】
(公財)水道技術研究センター 調査事業部
松尾・蓮・西田・近藤
TEL:03-5805-0264
申込先 e-mail:kouza@jwrc-net.or.jp

講師プロフィール

① 佐々木 隆 講師 ((公財)水道技術研究センター 技術顧問)

➤ 略歴

1978年4月 阪神水道企業団入庁

2008年3月 阪神水道企業団退職

2008年5月～ (公財)水道技術研究センター

➤ 講演にあたっての講師コメント

- ① エネルギー問題への提案: 脱炭素における取組の一つが省エネであるが、水道のエネルギーを移動(水輸送)と質変換(水処理)の両分野で見ると、前者に比べて後者への取組が遅れている感がある。今回は水処理の根幹部分すなわち固液分離操作に着目し、エネルギー視点から評価を加えてみたい。キーワードとしては、急速混和、凝集剤の比較、水の identity、fluid mechanics、など。
- ② 小規模分散型給水システムへの提案: 名水百選・垣花樋川(沖縄県)を水源とする給水タンクに水電解消毒装置を試験導入することとなった(2025年4月)。それに至った背景をはじめ、利用者(地元住民)の問題意識と合意形成、システム改良と機器設置、次亜塩素酸ナトリウム溶液注入との比較等を行い、種々の改善点を抽出していくためのケーススタディとしたい。

② 谷口 英雄 講師 (神戸市水道局給水課 係長)

➤ 略歴

2008年4月 神戸市入庁、都市局市街地整備課へ配属

2011年4月 企画調整局 企画課

2013年4月 市会事務局政策調査課

2018年4月 市長室国際課(公益財団法人神戸国際協力交流センター)係長

2020年4月 企画調整局新産業課 係長

2021年4月 都市局都市計画課 係長

2024年4月 水道局給水課 係長

➤ 講演にあたっての講師コメント

「人口減少」や「人手不足」といった問題は、全国的に共通する課題であり、各事業体においてもDXの推進によって、これらの課題に対応しようとする動きが見られます。

しかしながら、「IT人材がない」「ノウハウがない」「予算がない」「時間がない」といった理由から、対応に頭を悩ませているご担当者も多いのではないのでしょうか。

私自身も、2021年に都市計画課へ着任し、初めて開発許可業務に携わる中でDXを担当することになりましたが、当時はまさに同じような状況でした。

今回の講演では、神戸市水道局給水部門におけるDXの取り組みをご紹介するとともに、現場でDXを担当する職員がどのような考えのもとでDXを進めているのかについてもお話します。

「DX成功の秘訣」とまでは言えないかもしれませんが、皆さんの取り組みや考え方が一歩でも前に進むきっかけとなるような講演にしたいと考えております。